

## 抽象のハシゴ — 牝牛ベッシー —

8 富	富という言葉はきわめて高いレベルの抽象で、ベッシーのほとんどの特性レベルへの言及は省略されている。
7 資産	ベッシーを「資産」と言う時、なお多くの彼女の特性が落ちている。
6 農場資産	ベッシーが「農場資産」に含まれる時は、ただ彼女が他の全ての農場の売れる物件と共通の点だけが言及されている。
5 家畜	ベッシーが「家畜」と呼ばれる場合には、彼女が豚・鶏などと共有している特性だけが言及されている。
4 牝牛	「牝牛」の語は、われわれが牝牛 1、牝牛 2、牝牛 3…牝牛 n に共通の特性を抽象化したものを代表する。特定の牝牛の特有の特性は捨てられる。
3 ベッシー	「ベッシー」(牝牛 1)の語は、2のレベルの知覚の対象にわれわれが与えた名である。名は対象そのものではない。それはただ対象を代表し、対象の諸特性の多くへの言及を省く。
2 知覚のレベル	われわれが知覚する牝牛は、語ではなく、経験の対象である。われわれの神経系が、原子的過程—牝牛を形成する全体から抽象(選択)したもの。原子的過程—牝牛の多くの特性は落ちている。
1 原子的過程のレベル	科学に知られている牝牛、現在の科学の推定では究極は原子・電子等からなる。諸特性はこのレベルでは無限でまた常に変化しつつある。

↑ 抽象のレベルを上げることで、科学的・哲学的な検討が出来る。ただし、『われわれが知っていることは全て抽象である。』ことを、忘れてはならない。

↓ 個々の議論においては、『その話は抽象のレベルを下っても通用するか?』を常に検討すべきである。

↑ 優れた小説家や詩人の作品は、より高いレベルと低いレベルの抽象との相互作用が常に働き、一般的な洞察と現実的な場面の描写の両面で、一般化に効果と説得性を持たせる。



3～8 は言語のレベル